

1・2年生性教育の授業を受けました

1日目 おとなの体になるということ（体の変化）

講師に助産師の南朋恵さんをお招きし、本校で初めて性教育を行いました。

将来の夢を叶えるために「心の健康」と「体の健康」の他に「性の健康」も大事にしてほしい！

成長するという事は命を生み出すことができる体をつくるということ。男子の射精、女子の生理について1年生の保健の授業を復習しながら楽しい雰囲気学びました。

性のことで気になっても親にも聞きづらかったので、この授業があって有難いです。(1年男子)
性に関する内容はデリケートで、日常で話すのには少し勇気がいるが、南先生のようにオープンに話してくれると、私たちの未来や性の健康に関わる大切なことなので助かるなあと思いました。(2年男子)



1Aの授業にフランス人留学生のコムさんが参加。フランスでは性教育はある？との質問に学校で学んでいる、また家でもオープンに話し、彼女ができた時にはコンドームを父親から渡されたというエピソードも話してくれました。

2日目 生理期間快適に過ごすためにできること

- ・男子が生理の重さを知らないから、プールで見学をしている時に「さぼりでしょ」と言われた。(2年女子)
- ・生理でお腹が痛いときに軽い感じで「生理？」と聞かれた。(1年女子)
- ・生理でイライラしている時に「怒りすぎでしょ」と言われた。(1年女子)

性についての事前アンケートで上記のような声が聞かれたので、2日目は生理について理解を深めるためのワークショップをしていただきました。生理で辛い時に家族やクラスの女子にできること(男子)、家族や先生、クラスの男子に気に掛けてもらいたいこと(女子)を話し合いました。



生理は僕たちに直接関係することではないけれど、今回の授業で女子の生理のつらさや男子の声掛けに対する思いなどを聞くことができ、今後生理の時の女子にどのように接すればよいのか理解を深めることができたと感じます。(2年男子)
生理でつらい時は無理せず休んで良いことを知り心が軽くなりました。(2年女子)

私はこの授業を受ける前に「生理はつらいことばかりでメリットなし」と思っていました。でも生理は「命をつなぐためにある」と学び、大変だけど前向きな気持ちで生理と向き合っていきたいです。(1年女子)

男子の身体の悩み

1、僕のペニスが小さい...

2、毎日射精しないとどうなっちゃうの？

3、ペニスがかゆい、ブツブツが出てきた。

4、マスターベーションやっちゃダメ？

5、包茎かも？

男子のよくある体の悩みについても話してもらいました。

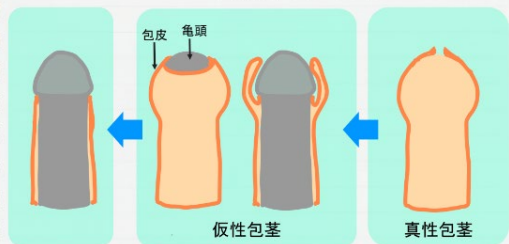
- 1ペニスは勃起した状態で4~5cmあれば問題ない。
- 2射精はしなければ夢精として自然に出るか、体に吸収されるので心配ない。
- 3泌尿器科に相談しよう。よくあることで恥ずかしくない。
- 4性的欲求をヘルスケアするために必要なこと。もちろんなくても問題ない。しかし、家の中で一人の空間で行うこと、(公的な場所や人前ではしない)、間違ったやり方をしない(将来、勃起障害につながるよ)

5包茎は心配ない。仮性包茎は日本人の7割。

★性器の洗い方

「男子編」龟头は石鹸を使わない。流すだけ。包皮の皮(仮性包茎の場合は少し剥いて洗う)は石鹸で洗う。
「女子編」洗い過ぎて常在菌が減り、かゆみが発生することもある。石鹸を使わず洗い流すだけで十分。

ペニス(龟头)のかたち



今回の性教育を支援している方からのプレゼント。手作りのナプキンポーチをいただきました。柄が全て違うポーチ。将来の選択をこのポーチの選択のようにして欲しいという思いが込められていると聞いて感動。男子は姉妹やお母さんにプレゼントしてねと。家で渡せたかしら・・・？

今回、性教育を行うにあたり、講師の南朋恵さんご自身の中学生の時に抱えた悩み「月経は恥ずかしいこと、隠すことのイメージを払拭したい」という熱い思いを伺い授業づくりスタート。性の健康管理を知ることで、望まない妊娠を防ぎ、将来妊娠を望んだ時に妊娠できるからだづくりが男女共に大事。そのためにこの中学校時代からお互いの性について理解し、この先オープンに話し合える関係づくりの一步にできるような授業を作りましょうと話し、初めて本校で行いました。
3年生はまた新たな展開の性教育を3月に予定しています。お楽しみに★